

【ユニリハ】ポジショニング R.E.D.セミナー

理論編×実技体感編

～微小重力環境で行う筋緊張制御～

身体質量と重力を拮抗させた環境でポジショニングアプローチを行う事で、筋緊張が安定し、関節拘縮の変化が長時間持続するという臨床研究が発表されました。低反撥マットレスを数枚重ねてポジショニングを行うこの環境を Rehabilitation & Engineering Design -R.E.D.-とし、2010年より研究が開始されました。長期療養生活を送り、長い年月をかけてもたらされた過緊張に対する関節拘縮の変化と循環器系の安定例は、これまでの臨床場面では見られなかった新しい発見と、今後の医療に大きく影響する事が示唆されました。

<プログラム>

◆理論編 症例結果、研究報告

重力をコントロールしたポジショニングを行うことで、異常筋緊張に変化が起り、姿勢や動作、ADLに影響した研究結果を具体的な症例とともにご紹介します。

◆実技体感編 臨床への応用

○（医学相対性理論、R.E.D.環境の解説）

訓練場面で低反撥マットレスを重ねてポジショニングをとるだけで、筋緊張の変化から関節拘縮の改善が起ります。この原理を紐解きます。

○（R.E.D.環境を使った訓練場面でのポジショニング実技）

○（R.E.D.を生かした各症例に対してのポジショニング実技）

R.E.D.環境で簡単に過緊張の筋は緩み、姿勢は変化します。

これを疾患別に説明します。



R.E.D. 介入前



R.E.D. 介入後

ポジショニングで関節拘縮を緩和させ身体全体が柔らかくなる効果を共有しましょう。実技では、微小重力環境を体感できます。その体感がリハビリ、日頃のケアの気付きへ導き治療手段や介助技術に繋がります。また、研究に用いた物品ではなく、臨床現場にあるものだけで結果を残す具体的方法論や、明日からすぐに使える臨床に役立つポジショニング技術や、在宅介護でのポジショニングの応用もご提案します。

日時 2022年7月17日（日） 10:00～16:30

・会場 八王子市芸術文化会館いちょうホール(東京都八王子市本町24-1)

参加費 15,000円

・申込URL <https://www.meducation.jp/seminar/detail.php?id=38186>

お問い合わせ

日本ユニバーサルリハビリテーション協会

TEL 042-208-0102

E-mail otmode@jcom.home.ne.jp

URL <https://universalreha.com/>